

公共事業再評価調書 (5回目再評価)

主管課：河川課

1 事業概要	事業名：安里川河川改修事業		前再評価年度：平成25年度		
	事業種別：流域治水対策河川事業	事業主体：沖縄県	(S47～R9)		
	事業箇所：那覇市	根拠法令：河川法	事業期間：S47～R15		
	総事業費(百万円)：38,737	費用内訳：補助 9/10	事業量(m) 6,140		
(整備目的)	治水安全度の向上を図り、浸水被害の解消を目指す。また、親水性と環境に配慮した多自然川づくりを目指す。				
1-2 前再評価以降の計画変更	真嘉比遊水地の施設規模を変更に伴う暫定運用(前回:1/50確率 今回:1/30確率)				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価(H28整備計画策定)後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他(
3 再評価に至った主な要因 (具体的な理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他(関係機関との協議)				
	用地取得の困難や、関係機関との協議が難航しているため。				
4 事業の進捗状況 (R3.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	38,737	6.14	99.6	
	実施済	22,860	2.11	57.8	
	率	59%	34%	58%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	牧志・安里再開発事業区間から豊橋までの整備を完了した。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 R3) (単位:百万円)	① 一般資産	592,102	① 建設費	38,159	
	② 農作物	0	② 維持管理費	12,937	
	③ 公共土木施設等	439,340			
	④ 間接被害額	237,547			
	便益(B)	1,268,988			
	⑤ 残存価値	1,061	費用(C)	51,096	
	基準年換算(B)	996,509	基準年換算(C)	88,701	
	費用便益比 (B/C) = 996,509 / 88,701 = 11.2				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	全国的に降雨による水害が激甚化しており、本県においても河川整備を着実に推進する必要がある。未整備区間については、依然として氾濫の危険性があり早期整備が必要である ① 社会・経済：集中豪雨による浸水被害が発生していることから、那覇市より早期改修の要望がある。 ② 地元・自治体： ③ 利害関係者：用地難航箇所においては、土地収用法に基づく手続きにて取得を行った。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 流域の都市化に伴う保水能力の低下及び現況河川の流下能力の不足により、浸水被害が頻発している ② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 安里川の河道計画は河道分担流量の低減のため、洪水調節施設として上流部に金城ダム並びに右支川真嘉比川に遊水地が位置づけられている。これら河道計画の前提となる金城ダム(平成12年度完成)、真嘉比遊水地(平成13年度完成)とも既に完成しており、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 改修により河川拡幅済区間は被害が軽減しており、効果が発現している。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：豊橋からひめゆり橋(国道330号)間の早期完成を図るとともに、ひめゆり橋から上流の用地・補償に取り組み、関係機関と連携を図りながら予定事業期間での完成を目指す。 ② 対住民関係：任意交渉に鋭意取り組み、早期取得を目指す。 ③ 執行体制等：現在の組織体制で鋭意整備に取り組む。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・県民にとっての不利益(洪水被害)が長引くのは好ましくない ・B/Cが高いところは早く事業を終わらせて事業効果を発現すべき				